

令和5年度 名古屋市立向陽高等学校 SSH卒業生調査

(1) 目的

第Ⅰ～Ⅱ期SSH事業に参加した卒業生のその後の進路・就職先を調査し、高校での活動がどのように役立っているかを調査する。また、キャリア通信などで卒業生の活躍について現役生へ伝え将来への展望を抱かせる。

(2) 内容・方法

期間：令和5年10月12日～10月31日

対象：SSH第Ⅰ期 SSクラス1～5期生（2009年3月～2013年3月卒業）

SSH第Ⅱ期 国際科学科1期生（2018年3月卒業）

方法：googleフォームを用いて、以下の内容を調査した。（すべて自由記載）

- ①最終学歴 ②現在の所属 ③職務内容 ④業績 ⑤向陽高校のSSH事業で現在役立っていること
⑥卒業生インタビュー等に今後協力してもらえるか

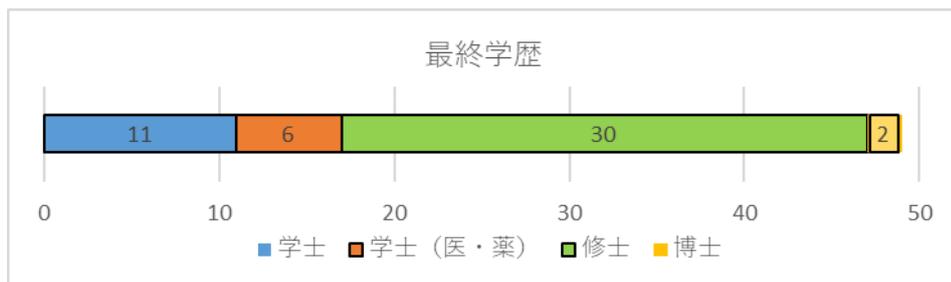
回答数：SSH第Ⅰ期 SSクラス1～5期生 49名

SSH第Ⅱ期 国際科学科1期生 10名

(3) 調査結果

SSクラス1～5期生（2009年3月～2013年3月卒業） 回答数：49名

①学歴

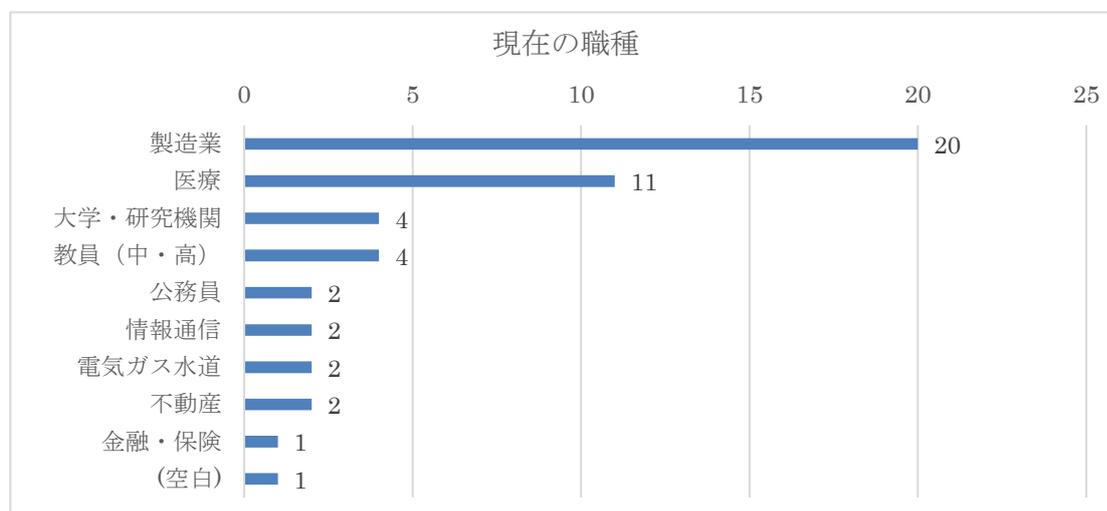


【博士】名古屋大学大学院 生命農学研究科 / 東京大学大学院 工学系研究科社会基盤学専攻

【修士】大阪大学大学院 理学研究科物理学専攻 / 早稲田大学大学院 先進理工学科応用化学専攻
東北大学大学院 都市建築学サステナブル環境構成学専攻 / 名古屋大学大学院 創薬科学研究科基盤創薬学専攻 / 名古屋大学大学院 理学研究科素粒子宇宙物理学専攻 …等

②所属 ③職務内容 ④業績・発表論文

所属先を業種ごとに分類したものが以下のグラフである。



業績・発表論文がある卒業生の所属は以下の通りであった。

【大学・研究機関】

- ・名古屋大学高等研究院 兼大学院生命農学研究科 YLC 特任助教
- ・東京工業大学 助教
- ・エモリー大学 ASSociate Academic Research Scientist
- ・京都薬科大学 薬用植物園

【製造業（一部抜粋）】

三菱電機(PLC の F/W 開発) (電気絶縁に係る研究開発) / 豊田自動織機(生産技術) / デンソー(3D カメラの技術研究) / ソニーGM&O(製品に関わる要素技術開発) / マツダ(設計・技術開発) / フジクリーン工業(排水処理技術開発) ...等

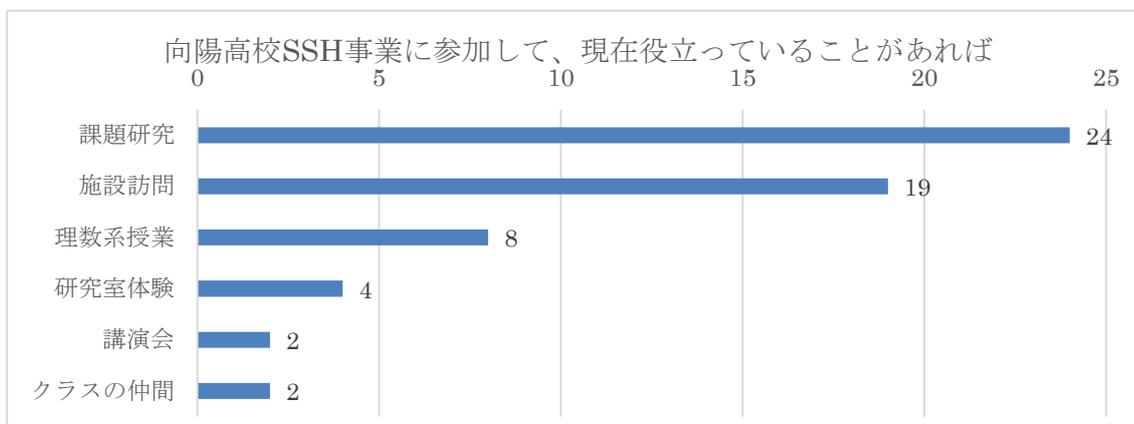
【医療】 参天製薬 (新薬の臨床開発) / 第一三共 (抗がん剤の開発業務) / 名古屋大学医学部附属病院(手術室特定看護師) ...等

【電気ガス水道・不動産】 電源開発 (洋上風力発電事業の開発) / 日揮 (プラント設計) / 九州地域間連携推進機構(地方創生事業)

【教育】

高校教員 3 名・中学校 1 名 (理科 3 名・数学 1 名)

⑤向陽高校の SSH 事業に参加して現在役立っていることがあれば自由に記載してください



【課題研究】

- ・課題研究で行っていた内容は、大学でも教員生活でも役立っています
- ・SSHの課題研究で風車の製作を行ったことをきっかけとして、洋上風力に関する研究及び仕事に従事している
- ・課題研究などにおける発表や論文作成経験
- ・パワーポイントスキル・プレゼンスキル・課題研究による論理的思考力・情報収集力
- ・プレゼン力・論理的思考力・英語力・好奇心を大事にすることなど、研究を組み立て発表までする力は今でも役立っていると思います。
- ・看護系大学ではあまり論文を読んだり、書いたりという指導を受けられなかったため、SSHで論文を書いて発表した経験が、臨床において看護論文を読み理解したり発表する上で役に立ちました。
- ・課題研究や英語での成果発表（失敗しても粘り強く物事に取組む姿勢、チームワーク、英語での意思疎通）
- ・細胞死についての課題研究
- ・課題研究を通じて通常の高校生よりもプレゼン発表を行う機会が多かったこと。

・フィールドワークの楽しさを知り、新聞記者になるきっかけとなりました（2年生で一番最初に行ったカメの野外調査が楽しかったです）。プレゼン力・論理的思考力・英語力・好奇心を大事にすることなど、研究を組み立て発表までする力は今でも役立っていると思います。

・1年時に個人研究を行い、2年時以降にグループ研究を行ったことはとても役に立った。なぜなら、個人でできる研究とグループで研究するよさや楽しさを知ることができたからである。私は、感動や驚きの連続で研究の楽しさを知り、研究成果をまとめる力も身についた。さらに研究内容を他の人に伝える喜びを初めて知った。

【理数系授業】

・全領域(物化生地)を学ぶカリキュラム (多数)

・物化生地の科学4分野を一通り学習できたことがかけがえのない財産です。受験対策のため、通常の高校生活ではいずれかの分野に偏った学習しかできませんが、自然科学を学ぶ上で4分野の内容を一通り知っておくことは極めて重要だと感じます。

【施設訪問】

・JFE スチールは特に印象に残っています。

・研修旅行で製鉄会社を見学したこと

・スプリングエイト、明石海峡大橋の見学

・Spring 8に行ったことがあるという話題で盛り上がる。

・理研の見学が心に残っていますが、それを含め高校での経験が視野を広げてくれました。今のモチベーションにも繋がっていると思います。

・研修旅行で様々な工場や施設を見られたことは、科学に対する好奇心を常に高く持てることに繋がっています。

・特に様々な会社に見学に行けたことが、工業系の学部に進学する決め手になりました。

【研究室体験】

・名市大へのパーキンソン病の研究の見学

・名城大学薬学部に見学に行ったのをきっかけに薬学部に興味を持ち、薬剤師になりました。

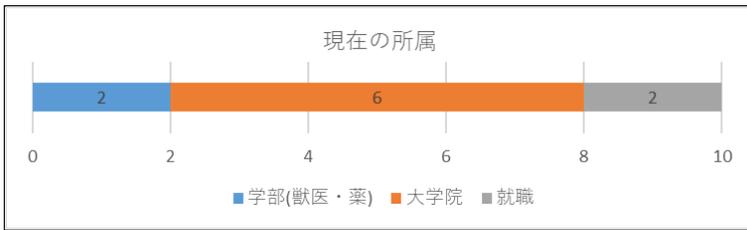
【クラスの仲間】

・個性豊かなメンバーと濃い時間を過ごせたこと

・面白い同級生に出会えた。

国際科学科 (2018年3月卒業) 回答数: 10名

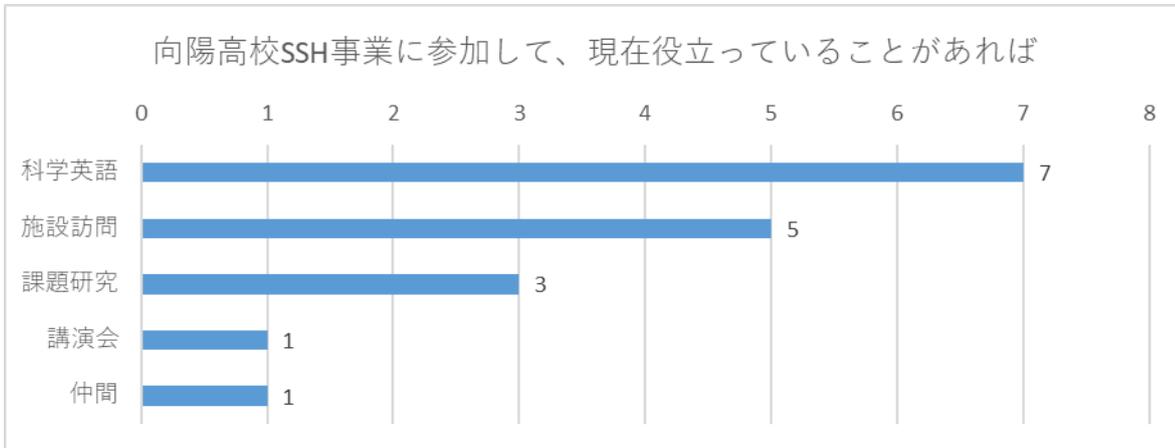
②現在の所属



【大学院】 東京大学大学院 工学系研究科 / 京都大学大学院 (経済協力開発機構 OECD へのインターン中) / 京都大学大学院 工学研究科材料化学専攻 / 名古屋大学大学院 理学研究科理学専攻 …等

【就職】 株式会社FIXER / 富士通 Japan 株式会社

⑤向陽高校のSSH事業に参加して現在役立っていることがあれば自由に記載してください



【科学英語】

- ・科学英語の授業で基礎的な科学用語を学んでいたため、論文を読んだり書いたりする時に取り組みやすい
- ・英語での授業が充実していたため、職場での英語話者との会議に役立っている。
- ・ケントに言われたことの受け売りだけど、Study Well, Have Fun が大事だと思います。

【施設訪問・海外研修】

- ・海外旅行でアメリカの高校生と研究交流会ができたこと
- ・caltec を始めとして世界の第一線で活躍している大学や企業を見学でき、先端での知識を取り入れ続けなければいけないと思い、アンテナを高くできています。これらは大学での人工衛星を用いて、マラリアのリスク予測を行うという研究や、今の仕事の自然言語処理の開発に生きていると思います。

【課題研究】

- ・日本語・英語問わずプレゼンや発表の機会が多かったこと
- ・研究や研究発表
- ・国際科学では研究の基礎、物事の論理的に、批判的に捉える力、プレゼン能力が身についたと思います。

【講演会】

- ・出前講義 (イタリア人研究者の方)